

出資法人経営状況報告書
(大東公民連携まちづくり事業株式会社)

提 出

平成31年2月25日

出資法人経営状況報告書について

出資法人経営状況報告書を地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、次のとおり提出する。

平成31年2月25日提出

大東市長 東 坂 浩 一

第二期

(平成29年10月1日～平成30年9月30日まで)

事業報告書

平成29年10月1日から

平成30年9月30日まで

事業の状況

【事業の経過および成果】

当社は、大東市公民連携基本計画に基づき、公民の力で、大東市が抱える課題である人口減少、マーケットからの敬遠、地域経済の低迷、地価の下落、インフラ老朽化、まちなみの魅力低下などに伴う財政悪化を回避することを目的に、牽引役となる事業を実施する主体として平成28年に立ち上げられ、第2期目の決算を迎えました。

当事業年度においては、住道駅周辺活性化プロジェクトとして、駅北側デッキで月1回開催してきた「大東ズンチャッチャ夜市」の来場者がのべ3万人を越えました。春と夏に発行したミニコミ誌「Nukui」とともに、大東市の店舗・風景・人などの潜在的魅力を伝えることで、大東市内外の人に住道を訪れ楽しんで頂く機会を創出してきました。

また、健康づくりプロジェクトでは、スクール事業に加え、大東市をフィールドとした藤田保健衛生大学の「運動＋食事で元気になる」研究の支援を行うなど、大東市民がより元気になり、社会課題の解決につながる健康ラボ事業を進めています。

北条まちづくりプロジェクトにおいても、大東市や入居予定の企業と基本協定を結び、施設的设计やトークイベントを行うなど、事業がスタートしております。

研究支援委託等の民間からの売上に、住道エリアプロデュース推進業務委託等の大東市からの都市開発収入を合わせた当該事業年度の売上高は、3千83万円と第1期よりアップしたものの、先行投資的な人件費の増大もあり、経常利益は△3百57万円、当期純利益は△3百64万円となりました。

【財政状態】

当事業年度における財政状態は、借入金は無く、純資産は7百20万円、北条まちづくりプロジェクトを推進するための子会社である東心株式会社他の株式を合わせた総資産は1千2百73万円、自己資本比率は56.5%です。

株式の状況

当該事業年度における株式の状況は以下のとおりです。

- ① 発行可能株式の総数 10,000株
- ② 発行済株式の総数 800株
- ③ 株主数 3名
- ④ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大東市	600	75.0
川村義肢株式会社	100	12.5
株式会社アカカベ	100	12.5

決 算 報 告 書

第 2 期

自 平成29年10月 1日

至 平成30年 9月30日

大東公民連携まちづくり事業株式会社

大阪府大東市深野3丁目28番3号

貸借対照表

大東公民連携まちづくり事業株式会社

[税込] (単位:円)
平成30年 9月30日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		買掛金	4,528,436
現金	787,162	前受金	585,240
普通預金	1,792,877	預り金	385,202
現金・預金計	2,580,039	未払法人税等	35,000
(売上債権)		流動負債計	5,533,878
売掛金	8,327,017	負債の部合計	5,533,878
貸倒引当金	△49,962		
売上債権計	8,277,055	純 資 産 の 部	
(その他流動資産)		【株主資本】	
前払金	149,600	資本金	8,000,000
仮払金	531,000	(利益剰余金)	
その他流動資産計	680,600	〔その他利益剰余金〕	
流動資産合計	11,537,694	繰越利益剰余金	△796,184
【固定資産】		利益剰余金計	△796,184
(投資その他の資産)		株主資本計	7,203,816
関係会社株式	1,200,000	純資産の部合計	7,203,816
投資その他の資産計	1,200,000		
固定資産合計	1,200,000		
資産の部合計	12,737,694	負債・純資産の部合計	12,737,694

損 益 計 算 書

[税込] (単位:円)

大東公民連携まちづくり事業株式会社

自 平成29年10月 1日 至 平成30年 9月30日

【売上高】		
売上高	30,835,329	
売上高計		30,835,329
【売上原価】		
期首商品・製品棚卸高	0	
売上原価	17,199,629	
売上原価	17,199,629	
合計	17,199,629	
期末商品・製品棚卸高	0	
売上原価計		17,199,629
売上総利益		13,635,700
【販売費一般管理費】		
(人件費)		
人件費計	12,652,411	
(その他経費)		
その他経費計	4,590,018	
販売費・一般管理費計	17,242,429	
営業利益		△3,606,729
【営業外収益】		
受取利息	44	
雑収入	28,836	
営業外収益計	28,880	
【営業外費用】		
営業外費用計	0	
経常利益		△3,577,849
【特別利益】		
特別利益計	0	
【特別損失】		
特別損失計	0	
税引前当期純利益(損失)		△3,577,849
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期純利益(損失)		△3,647,849

販売費及び一般管理費内訳書

[税込] (単位：円)

大東公民連携まちづくり事業株式会社

自 平成29年10月 1日 至 平成30年 9月30日

(人件費)	
給料 手当	8,888,173
役員 報酬	700,000
賞 与	1,970,982
法定福利費	1,090,924
福利厚生費	2,332
人件費 計	12,652,411
(その他経費)	
通 信 費	488,948
旅費交通費	793,643
広告宣伝費	337,229
接待交際費	25,630
会 議 費	26,868
事務用品費	313,657
消耗品 費	325,957
地代 家賃	434,400
保 險 料	31,160
租税 公課	147,756
支払手数料	1,483,047
貸倒引当金繰入額	49,962
賃 借 料	89,996
雑 費	41,765
その他経費 計	4,590,018
販売費・一般管理費計	17,242,429

株主資本等変動計算書

大東公民連携まちづくり事業株式会社

[税込] (単位:円)

自 平成29年10月 1日 至 平成30年 9月30日

	株主資本										評価・ 換算 差額等	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	新株式 申込 証拠金	資本剰余金		利益剰余金			自己 株式	自己株式 申込 証拠金	株主 資本 合計			
			資本 準備金	その他 資本 剰余金	利益 準備金	その他利益剰余金							
						別途 積立金	繰越利益 剰余金						
当期首残高	3,000,000	0	0	0	0	0	2,851,665	0	0	5,851,665	0	0	5,851,665
当期変動額													
新株の発行	5,000,000									5,000,000			5,000,000
自己株式の取得													
自己株式の処分													
剰余金の配当													
別途積立金の積立													
別途積立金の取崩													
当期純利益							△3,647,849			△3,647,849			△3,647,849
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)													
当期変動額合計	5,000,000	0	0	0	0	0	△3,647,849	0	0	1,352,151	0	0	1,352,151
当期末残高	8,000,000	0	0	0	0	0	△796,184	0	0	7,203,816	0	0	7,203,816

注記表

大東公民連携まちづくり事業株式会社

平成30年 9月30日 現在

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の数 800株

第三期

(平成30年10月1日～平成31年9月30日まで)

事業計画書

平成30年10月1日から

平成31年9月30日まで

当社は、大東市が設立したまちづくり会社として、「大東市公民連携基本計画」の開発理念である「自分でつくったまちに住む～大東に住み、働き、楽しむ～の実現に向け、公的資産を活用した4つのリードプロジェクトをさらに深化発展させてまいります。

北条まちづくりプロジェクトは、『ココロもカラダも幸せに暮らせる住宅地』をめざし、平成 32 年 4 月のまちびらきに向けて、設計、建設を着実に進めてまいります。新しくなる鎌池公園の使われ方を含め、住宅地としての人々の生活と企業・商店としての営みが融合し、「日常の豊かさ」が感じられるまちとなるよう、地域住民と入居企業が語り合う場ももちながら、丁寧に進めてまいります。

深野北小学校跡地活用プロジェクトは、『ココロとカラダの稽古場』をめざし、質の高いスポーツ、歴史・文化、食のコンテンツを備えた拠点形成に向けて取り組んでおります。

「株式会社アクティブ・スクウェア・大東」による活用については、宿泊施設のオープンに伴い、より多くの人に活用される場となるよう、フォトゲイニングや相撲文化とふれあえる「大東ピクニック」などのイベントを通し、その魅力発信にも努めてまいります。

住道駅周辺活性化プロジェクトは、『何度でも訪れたい賑わいの場』をめざし、「大東ズンチャッチャ夜市」の安定開催を核としながら、ウェブサイトの立ち上げや、大東を満喫するヘルシーツアーである「魅惑の変身ツアー」などの新たな交流企画を通し、エリアのさらなる活性化を図ってまいります。

健康づくりプロジェクトは、『健康の喜びを分かち合えるまち』をめざし、全国的に先進事例と評価されている本市の介護予防のノウハウを活用したスクール事業、健康ラボ事業を進めてきた経験も生かし、平成 31 年 4 月から受託する「大東市基幹型地域包括支援センター」の開設、運営を確実に行ってまいります。東西南北のエリア型地域包括支援センターにつきましても、協力法人と連携を密にし、地域の高齢者のために一致団結して運営してまいります。

このように、4 つのプロジェクトを核としながら、北条まちづくりプロジェクトの確実な実行、地域包括支援センターの安定的運営と地域への定着を今期の最重要事業と位置づけ、引き続き金融機関、民間企業との関係も強化し、持続可能な自立運営を進めてまいります。

印刷物番号

30-77